

2017年度(平成29年度) 金沢大学大学院人間社会環境研究科(第2期募集)

入学試験問題

試験科目	経済理論		
問題区分	一般・社会人・外国人共通	解答用紙枚数	2枚

次の設問から2問を選択して解答しなさい。なお、1つの設問につき1枚の解答用紙を使用すること。解答用紙には選択した設問番号を明記すること。

設問1 1960年代半ば以降に生じた資本制経済の新たな矛盾として、「国際均衡を無視しての国内均衡の追求は、国際通貨体制の崩壊を導き、世界経済に大きな混乱を持ち込んだ」ことが指摘されている。これについて、第2次大戦後の国際通貨体制を牽引してきたアメリカ経済を念頭において、詳しく説明しなさい。

設問2 (1) 経済主体間の情報の非対称性によって引き起こされる市場の失敗の例として「逆選択」の問題が知られている。簡単なモデルを用いてこれが発生するメカニズムを説明しなさい。
(2) (1)のモデルを用いて「逆選択」の対処法について説明しなさい。

設問3 (1) 金融政策及び財政政策の効果について、ハロッド・ドーマーモデルを用いて説明しなさい。
(2) 金融政策及び財政政策の効果について、ソローモデルを用いて説明しなさい。
(3) (1)及び(2)の結果の相違についてその原因を説明しなさい。

2017年度(平成29年度) 金沢大学大学院人間社会環境研究科(第2期募集)
入学試験問題

試験科目	経済史		
問題区分	外国人留学生特別選抜	解答用紙枚数	1 枚

1つの設問につき1枚の解答用紙を使用すること。

以下の問について、ヨーロッパ、中国、日本のいずれかを対象国として取り上げ、解答しなさい。ヨーロッパに関しては任意の一国とする。なお、どの国を取り上げて解答しているのか、解答の冒頭に明記すること。

設問 1950年代から現在にいたる当該国の輸出入、対外投資・対内投資、および外国為替市場の動向に関して、重要と考えられる局面をいくつか取り上げ、それらの動向を相互に関連づけながら、論じなさい。

2017年度(平成29年度) 金沢大学大学院人間社会環境研究科(第2期募集)
入学試験問題

試験科目	経営学(会計学を含む)		
問題区分	外国人留学生特別選抜	解答用紙枚数	2 枚

次の設問から 2問を選択して解答しなさい。なお、1つの設問につき1枚の解答用紙を使用すること。解答用紙には選択した設問番号を明記すること。

- 設問1 企業の境界線書き換えのマネジメントを行う際に留意しなければならない論点について、整理しなさい。
- 設問2 C.I.バーナードの所論に沿いながら、インセンティブ・システムとしての金銭的報酬制度を設計するうえで重視されるべき点を論じなさい。
- 設問3 会計計算における資産評価の重要性について述べ、原価基準、時価基準、低価基準につき、それぞれの意義、長所、理論的根拠を論じなさい。
- 設問4 資産負債アプローチと収益費用アプローチはそれぞれどのような目的観を持った会計思考なのか説明しなさい。また、資産負債アプローチと収益費用アプローチではどのような会計計算を重視しているか説明しなさい。